

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	博物館経営論					授業形態		講義	
科目コード	710101	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング
担当教員名	永友 良典								
授業概要	博物館へのニーズ拡大やグローバル化、情報化・国際化の進展の中で、多くの来館者や市民が満足して利用してもらえるよう、博物館の組織、施設、人材の在り方、経営手法としてのマーケティングと評価、市民や地域社会との連携など、博物館経営的な視点での博物館の運営が不可欠な事柄であることについて学ぶ。								
関連する科目	1年次及び2年次で履修する博物館に関する科目								
授業の進め方 と方法	授業で扱うキーワードを事前に提示し、授業の教材とする。授業終了後にキーワードのまとめを課題として提出させる。授業では、関連する写真データを使ってわかりやすい授業に努める。また、授業内容を元に、学生各自に「博物館を作ろう」という課題を課す。課題について発表の機会を設け助言を行い完成品を発表させる。								
授業計画 【第1回】	第1回 ミュージアムマネジメントとは 博物館の現状を紹介し、博物館経営に関連する項目について概要を解説する。								
授業計画 【第2回】	第2回 博物館の種類と行財政制度 博物館の組織と人材等について現状と課題を紹介し、博物館に求められる組織と人材について解説する。								
授業計画 【第3回】	第3回 博物館の財務制度 博物館の財務システムや財政状況を紹介します、その課題と対応策について解説する。								
授業計画 【第4回】	第4回 博物館の施設と設備 博物館の施設と設備について事例を紹介し必要な施設と設備について考える。特に、最近、導入が進んでいるユニバーサルデザインについて解説する。								
授業計画 【第5回】	第5回 博物館の組織とスタッフ 博物館組織とスタッフについていくつかの事例を紹介し、博物館経営に必要な組織とスタッフについて考える。								
授業計画 【第6回】	第6回 博物館倫理（行動規範）と人材養成 博物館を取り巻く状況を把握し、博物館と学芸員に必要な倫理と行動規範について考える。								
授業計画 【第7回】	第7回 博物館の使命 「使命」が博物館経営にとって重要である意義を解説し、いくつかの事例について紹介する。								
授業計画 【第8回】	第8回 博物館の評価 博物館評価が使命達成にとっての必要性を学び、評価導入の経緯、評価の手法やシステムについて紹介する。								
授業計画 【第9回】	第9回 博物館の危機管理 防災対策や発生時の被害軽減等のリスクマネジメントの基本的な考え方について説明し、東日本大震災や熊本地震等で行われた文化財レスキュー等の事例を紹介する。								
授業計画 【第10回】	第10回 博物館のパブリシティ（マーケティングと広報） マーケティングや広報について定義や方法について解説し、いくつかの事例を紹介し、マーケティングや広報活動が博物館経営にとって重要であることを考える。								
授業計画 【第11回】	第11回 利用者へのサービス（ミュージアムショップ・レストラン） 博物館にとって必要は施設であり、博物館経営の一部となっているミュージアムショップやレストランについて、博物館施設としてのあり方について説明する。								

授業計画【第12回】	第12回 指定管理者制度 2003年から新たに導入され、その後の博物館経営のも大きな影響力を持つ「指定管理者制度」について、その仕組みと制度導入の現状と課題について事例とともに紹介する。
授業計画【第13回】	第13回 博物館における連携1 友の会の運営とボランティアや支援組織の育成博物館運営に欠かせないボランティア等との連携について事例をふまえて解説する。
授業計画【第14回】	第14回 博物館における連携2 他館や他の研究機関等との連携 他館や研究機関等との連携について相乗効果や新たな価値の創造といった視点から事例を中心に紹介する。
授業計画【第15回】	第15回 博物館における連携3 学校や行政機関、地域社会（公民館、自治会等）等との連携 教育機関や医療機関、及び地域社会とのより密な連携について事例を中心に紹介する。
授業の到達目標	学芸員も経営的視点を持ちつつ、職員全体で取り組まなければならない。いかにしたら多くの来館者が利用してくれるか、博物館のハード面であるハコモノ（施設、設備、展示等）の適切な管理・運営について理解する。また、博物館の魅力は学芸員とそれを支持するスタッフ一同の活動面の適切な管理・運営につきることを理解し、博物館のミュージアムマネジメントに関する基礎能力を養う。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修【予習】	前の授業で指示した次回授業で扱うキーワードの意味等を調べておくこと。授業で確認する。
授業時間外の学修【復習】	授業終了後に示す課題についてレポートを作成し提出する。
課題に対するフィードバック	レポートにコメントする。
評価方法・基準	定期試験（80点）課題掲出（20点）
テキスト	資料を配付する。
参考書	使用しない。
備考	宮崎県総合博物館と宮崎県立西都原考古博物館で合計18年の博物館勤務をしており、学芸業務と博物館行政業務の経験を有する。また、文化財IPMコーディネーターの資格を有しており、資料の保存業務や文化財IPMの実践、熊本地震等での文化財レスキュー活動等の実務に携わっている。さらに、宮崎歴史資料ネットワークで文化財保全活動のボランティア活動も行っており、以上の経験は授業概要に十分生かすことができる。